

ブランディングエージェンシー 株式会社PA Communication ブランドや製品・サービスを社会や市場に求められる価値にしていく、 コンテンツ・クリエイティブ領域の新サービス「CP」を開始

株式会社PA Communication（所在地：東京都港区、代表取締役：曾原健、以降PAC）は、コンテンツ・クリエイティブ領域の新サービス「CP」を開始しています。

新サービス「CP」開始の背景

流れるような情報と多様なメディアで溢れかえる昨今、ブランドや製品・サービスを、企業が市場やターゲットを絞って一方的に押しつけるような従来型のコミュニケーションは、もはや殆ど響かなくなってきています。正しい物・コトを見つけるのではなく、自分自身に合う物・コトを探し、自然とブランドや製品に“価値”を見出して、行動する時代となっています。クライアントニーズも多様化する中、弊社では、様々な人々と繋がり、世の中に求められている事象にあわせて編集したコンテンツ・クリエイティブを共に開発し、ブランドや製品・サービスを社会や市場に求められる新たな“価値”にしていくサービスを始めました。

「CP」概要

「CP」は、「Contents Produce」「Contents Production」「Creative Production」「Create People」… 様々な意味を内包しています。サービスの軸は、「コンテンツ」「クリエイティブ」「プラットフォーム」の3点です。

コンテンツ	知らなかった、今までなかった、斬新、画期的、圧倒的、信頼できる、そんな情報を開発し、価値構築していきます。
プラットフォーム	プラットフォーム：店舗やイベント、メディア、SNSなどあらゆる人や情報が集まり、コミュニケーションが生まれる場づくりをします。
クリエイティブ	カスタマーマーケティングとして市場の想いをブランドアイデンティティと掛け合わせ、商品&ブランド価値をクリエイティブ解釈し、売りに繋がる表現をサポートします。

主なサービス

- ブランディングストラテジックパートナー（新規事業・新規サービスのビジネス推進）
- コミュニケーションデザイン（課題解決に向けた本質的なPR・SNS・AD・販促までのコミュニケーション設計）
- MD・プロダクトプランニング（新しい発想やグローバル視点で売り方・見せ方の戦略サポート）
- エビデンス・ファクト開発（数値やデータ、実態などをゼロベースで構築）
- オウンドメディア・オウンドコンテンツ開発（一貫したディレクションで設計から実装、運用まで）
- Web・SNSマーケティング（トレンドとデータ分析を掛け合わせたアクティビティ提案）
- ヴィジュアル制作（KOLやインフルエンサーとのネットワークをいかしたヴィジュアル構築）
- 各種ツール制作（ディスプレイ、店頭販促物からノベルティまで幅広いアウトプット）
- イベント・スペースプロデュース（企画、演出、運営、運営まで一貫したサポート）
- 分析・調査・改善（社会情勢や外的・内的な要因、定量的な分析・検証から改善まで）

etc…

「CP」の代表事例はコチラから

https://www.pa-c.co.jp/post/strategy/vibram_ism_pr/

<https://www.pa-c.co.jp/post/strategy/citenopen/>

https://www.pa-c.co.jp/post/strategy/see-saw_web/

■ PA Communication <https://www.pa-c.co.jp/>

ときには親友のように、家族のように。ブランドに寄り添い、その声に耳を傾け、世界に一つの物語を紡いでいく。私たちPACは、「ブランドの魅力を最大化する会社」です。ビューティ、ファッション、音楽、スポーツ、フードなどのライフスタイル分野のPRは、特殊な専門知識とメディアネットワーク・リレーション、心を揺さぶる企画、切り口が必要不可欠。私たちは、創業以来培ってきたノウハウを活かしながら、課題解決に取り組む、ブランドの成長に貢献します。

ブランドを愛すること。
ブランドを信じること。
それが、私たちの仕事。

所在地	〒107-0061 港区北青山2-12-4 VORT青山Leap2F 204
事業内容	ブランディング/コミュニケーション戦略をはじめ、世の中や消費者の興味関心をくすぐる「コンテンツプロデュース」、PRとデジタルを融合した「コミュニケーション戦略の設計」、「オフライン/オンラインイベント」「インフルエンサー施策」「SNS戦略/実行」「メディア戦略・実行」、「CRM」など包括的なマーケティングコミュニケーションをワンストップで提供。
設立年月日	1997年2月
代表取締役	曾原 健